



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



サステナビリティレポート 2022

京都生活協同組合

発行

政策企画部

〒601-8382 京都府京都市南区吉祥院石原上川原町1-2

組織概要

創 立：1964年11月27日

理 事 長：畑 忠男

事業活動エリア：京都府全域

事 業 所：支部 10 / 店舗 18 / 葬祭事業 1 / 介護事業所 6

子会社・関連会社：5社

2021年度概況 (2022年3月20日)

組合員数：564,980人

事業高：886億4,290万円

出 資 金：179億3,588万円

職 員 数：1,552人 (7.5時間換算)



用紙：適切に管理されたFSC®認証林およびその他の
管理された供給源からの原材料で作られています。
植物由来の資源を原料の一部に使用して製造したインキ
を使用しています。

本冊子のご意見・
ご感想をお寄せ
ください



発行：2022年6月



理念／2030年ビジョン

理念

頼もしき隣人たらん

私たちは、相手を気にかけて、困っていることはともに考え行動し、暮らしに寄り添い、支え合っていく「頼もしき存在」であり続けます。

ビジョン

京都生協は新たな希望をつくる

次の世代、そしてさらに次の世代へ「安全・安心」な地球環境を手渡していけるように、組合員や職員そして関係する全ての人々と力を合わせ、『新たな希望』をつくります。

本レポートでは、理念や2030年ビジョンに向かって取り組むことを、「私たちが実現したい姿」で示す4つの項目に沿い、事業と活動内容を報告します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



京都生協の理念
ビジョンについて



これからも 「頼もしき隣人たらん」の精神で

京都生協は1964年、高度経済成長による物価の高騰などで暮らしに不安が募る中「お互いに頼もしき隣人となりましょう」の呼びかけで誕生しました。創立以来、助け合いの組織として、誰もが安心して暮らすことができる地域社会、持続可能な社会の実現に向けて取り組んできました。

今、ウクライナでのロシアによる軍事侵攻では多くの尊い命が奪われており、一日も早く平和な日が訪れることを願うとともに、平和の大切さを改めて実感しています。また、日本でも世界でも、地球温暖化や貧困や格差問題などの課題が山積しています。これらの課題解決に向け、今後も協同組合の役割発揮が期待されていると考えています。

昨年も新型コロナウイルス感染が拡大し、社会や経済、私たちの暮らしにまで大きな影響が及びました。そのような中、京都生協が行う事業は日々の暮らしを支える生活インフラであるとの認識のもと、感染防止の取り組みを徹底しながら事業を継続しました。コロナ禍で「つながり」の大切さが再認識されるなか「頼もしき隣人たらん」という京都生協の理念を大切に、SDGs(持続可能な開発目標)の実現にも貢献していきます。そして何より、皆さまの食を中心とした日々の暮らしを支えていきたいと決意しています。

理事長 畑 忠男



事業紹介

宅配事業

京都府全域に週に1回、食品から日用品、雑貨までさまざまな商品をお届けします。

店舗事業

安全・安心の品揃えとサービスを提供し、日々のお買い物から暮らしを支えます。

福祉事業

「住み慣れた地域で暮らし続けたい」という想いのために、きめ細やかな介護サービスをお届けします。

共済事業

全国の組合員同士の「助け合い」の気持ちから生まれた保障制度です。

葬祭事業

宗教・宗派・形式を問わずご葬儀から仏壇仏具まで、旅立ちのときをお手伝いします。

(株)京都コープサービス

毎日の暮らしの快適さを実現する多彩な商品・サービスをご案内します。

京都協同食品プロダクト(株)

水産・畜産の生鮮加工食品の製造、販売を行う、京都生協の加工センターです。

(株)コープネットワークサービス

京都生協の物流や宅配事業を中心に業務を行っています。

(株)コープストアサービス

コープのお店9店舗で、インスタアペカリーの運営を行っています。

(株)ハートコープきょうと

京都生協の特例子会社として、リサイクル事業を通じて障害者の自立支援と雇用促進、環境保護などの業務を行っています。

ブランドロゴ

これまでのKYOTO COOPロゴの3つの輪により育んできた「安全・安心・信頼」といった基本的な提供価値を継承し、新たな姿勢表明として「KYOTO COOP」「地域」「地球」を表しました。

私たちが暮らす町だけでなく、地域社会や地球（世界）にとっても持続可能であるように、大切にしてきた「安全・安心」により磨きをかけ、多様な人々を認め合い、助け合う関係を紡ぎながら希望ある社会をつくっていききたいと、3つの輪にさまざまな色やパターンを用いて、KYOTO COOP が目指す「多様性・つながり・自由で楽しい」を表現しています。



3つの輪のモチーフ

地域：場（空間）、人 地球：経度、緯度
KYOTO COOP：点から点へ届ける動き、満ちあふれる希望

今回ご紹介する取り組みは、ページごとに3つの輪それぞれのモチーフカラーで表現しています。

| | |
|-----------|---|
| 宅配 | 供給高： 592億円 （前年比 98% ） 利用人数： 184,213人 /週間 |
| 福祉 | 事業収入： 4億7,913万円 （前年比 100% ） 利用人数： 1,463人 /月平均 |
| 葬祭 | 供給高： 8,769万円 （前年比 95% ） クオレ会員数： 12,033人 |

| | |
|-----------|---|
| 店舗 | 供給高： 261億円 （前年比 98% ） 利用人数： 33,879人 /日 |
| 共済 | 手数料収入： 8億2,268万円 （前年比 100% ） 保有件数： 266,637人 |

コープSDGs行動宣言

日本生協連は、2018年6月15日に開催された、第68回日本生協連通常総会にて「コープSDGs行動宣言」を採択しました。「持続可能な開発目標（SDGs）」について、生協もその一端を担うべく、7つの取り組みを通じてその実現に貢献することを約束します。

| | | | |
|---|---|---|--|
| <p>持続可能な生産と消費のために、商品と暮らしのあり方を直していきます</p>  | <p>地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します</p>  | <p>世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します</p>  | <p>核兵器廃絶と世界平和の実現を目指す活動を推進します</p>  |
| <p>ジェンダー平等（男女平等）と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します</p>  | <p>誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりに参加します</p>  | <p>健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます</p>  | |

17 パートナーシップで目標を達成しよう

- ・協同組合間協同
- ・地域団体、NPO、行政、自治体などとの連携

1 貧困をなくそう

- ・ユニセフ支援活動
- ・フードドライブ

2 飢餓をゼロに

- ・WFP学校給食プログラム支援

3 すべての人に健康と福祉を

- ・福祉事業
- ・介護食品の供給
- ・ピンクリボン運動支援

16 平和と公正をすべての人に

- ・ヒロシマ・ナガサキのピースアクション
- ・沖縄戦跡基地めぐり

15 陸の豊かさも守ろう

- ・森林環境配慮型製品の開発と普及 (FSC®など)

14 海の豊かさも守ろう

- ・海洋環境配慮型製品の開発と普及 (MSCなど)

13 気候変動に具体的な対策を

- ・事業での温室効果ガス排出削減
- ・家庭での削減啓発

12 つくる責任 つかう責任

- ・産直
- ・エシカル消費推進
- ・環境配慮型製品の開発と普及

11 住み続けられるまちづくりを

- ・地域見守り活動
- ・買い物困難者支援
- ・被災者支援活動



10 人や国の不平等をなくそう

- ・ユニセフ支援活動
- ・フェアトレード

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

- ・3R活動の推進

4 質の高い教育をみんなに

- ・食育
- ・消費者市民社会づくりの活動実施

5 ジェンダー平等を實現しよう

- ・男女共同参画に向けた取り組み

6 安全な水とトイレを世界中に

- ・コアノンスマイルスクールプロジェクト

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- ・再生可能エネルギーをつくり、使い、ひろげる取り組み

8 働きがいも経済成長も

- ・健全な経営
- ・ワークライフバランスの強化

INDEX

- 02 理念 / 2030年ビジョン
- 03 これからも「頼もしい隣人たらん」の精神で
- 04 事業紹介
- 05 ブランドロゴ
- 06 コープSDGs行動宣言

2021 Topics

- 08 パートナーシップを強めて
- 10 人や産地 つながり 取り組み
- 12 コープのエシカル
- 14 食品ロスの削減
- 16 プラスチックの削減

私たちが実現したい姿

- 2030年ビジョンに向かって取り組むこと —
- 18 総合力で普段の暮らしへの役立ちを高める
- 20 安心して暮らせる地域社会づくり
- 22 持続可能な世界の実現に向けて
- 24 多様性を認め合う活力ある組織を目指して
- 26 運営参加

パートナーシップを強めて

京都の町を暮らしやすくするために活動を続ける行政や団体との連携を強めています。



新型コロナウイルス感染症対策応援寄付金を贈呈

京都府の「新型コロナウイルス感染症対策応援寄付金」へ寄付を行いました。組合員の商品利用点数に応じて積み立てを行い、寄付額を定めました。寄付金は、医療従事者等をねぎらうため、新型コロナウイルス感染症患者受入医療機関に応援金として支給されました。

寄付金額 **200万円**



京都府知事 西脇隆俊氏と京都生協理事長 畑忠男

動物たちのエサ代を支援

京都市動物園へ寄付を行いました。寄付金は、コロナ禍により大きな影響を受けた動物園に暮らす動物たちのエサ代として活用されました。安心して暮らせる地域社会づくりを目指し、京都の地に貢献できる取り組みをしたいという思いより実現しました。

寄付金額 **1,000万円**

「学生応援京都フェア」へ商品を寄贈

京都大学生協、龍谷大学生協が学生へ向けた支援として校内の学生食堂で開催したイベントへ、メーカーよりいただいた応援メッセージとともに、京都生協コープ商品を提供しました。商品を使った学食メニューを、特別価格で販売。コロナ禍を過ごす学生へ向け、「京都で生産者と一緒につくり上げてきた商品を食べる学生生活を過ごしてほしい」という想いを伝えました。



学生応援京都フェアへ参加した学生たち

子育て支援に関する包括連携協定

子育てにあたたかい社会づくりを目指し、京都新聞ホールディングスと子育て支援に関する包括連携協定を締結しました。京都生協「はじまるばこ」を軸に、互いの取り組みやネットワーク資源を有効に活用し、子育てがより楽しくなるよう知恵を出し合い、住みやすい地域づくりに貢献していきます。

はじまるばこ

「はじまるばこ」は、おむつやおしりふき、コープブランドのフリーズドライ離乳食など、計10種類の商品が入った子育て用品の詰め合わせBOXです。京都府在住1歳未満のお子様すべてにプレゼントしています。

「はじまるばこ」
累計申し込み数 **32,032件**



3万人目のお申し込み者となられた組合員へのお届けセレモニーを開催しました。2016年より取り組みを開始し、22年2月にはお申し込み累計3万人を超えました。

人や産地 つながり 取り組み

「つながること」を大切に。
生産者と組合員のつながりづくり、
京都生協との対等な立場での公正な取り引きを続けています。



鳥取県大山の生産者とのオンライン交流会

せいきょう牛乳の生産者、鳥取牛メーカーと協力し、それぞれの商品がどのような想いで作られているかをオンラインを通じて学ぶイベントを開催しました。夏休みを利用し20組の親子が参加、地元で暮らす生産者と交流をしたり、産地の食材を使ったラッシーとハンバーガー作りに挑戦しました。



せいきょう牛乳を使ったラッシーづくりの様子
大山乳業農業協同組合様

Coop Fan Meeting

「もっと知って ずっといっしょ」をテーマに「せいきょう虹の会」と協力し、商品の産地や工場での商品製造の様子を、中継や動画を活用しながら紹介しました。ライブチャットを使った交流では、生産者と組合員が互いに交流を深めることができました。



カット前の玄米パンを手渡し様子
タカキベーカリー様

親子オンライン料理教室

親子で料理をすることの大切さ、家族と食卓を囲む時間を今よりもっと大切にしたいと思っていただけよう、パパ料理研究家滝村雅晴さんを講師に迎え、親子で参加できる食育企画を開催しました。



当日のメニューは「フライパンで作った焼売」



参加者の声

オンラインでの料理教室に初めて参加しましたが、たくさんの参加者の方々と一緒にシューマイを作っているという一体感を感じながら5歳の息子と楽しく作ることができました。

料理教室参加者 **150人(61家族)**

地産地消の推進

京都オリジナルのブランド米として開発された新品種のお米「京式部」を販売しました。京都府内全域へ長年にわたり、京都産のお米をお届けしてきた経緯が販売のきっかけとなりました。広報誌機関紙「コーポロ」の中でも特集記事を設けるなど商品普及をあわせて行い、多くの組合員にご利用いただくことができました。



京式部利用点数 **1,865点**

京式部とは

温暖化の影響によるコシヒカリ等の品質低下や、平成30年の国の米政策の見直しによる産地間競争のさらなる激化に対応することを目的に、京都府で育成されました。栽培方法や出荷方法にこだわった高品質で全国トップレベルのブランド米を目指し、生産されています。

コープのエシカル

エシカルな商品を購入することが、地球環境を守り、途上国の暮らしの支援につながります。未来に続く世界の実現へ向け、エシカル消費の啓発に積極的に取り組みます。



京都市と「『エシカル消費』普及促進に係る連携協定」を締結

市民社会の実現及びSDGs目標の達成に向けて、京都市と連携協定を締結しました。今後は、SDGsの達成に向けたエシカルな消費行動を広く消費者へ啓発し、行動提起や購買活動の意識改革をともに推進します。



京都市長 門川大作氏と京都生協理事長 畑忠男

協定の内容

- (1) エシカル消費の理念等の浸透に関すること
- (2) 消費者市民社会の実現に向けた消費者教育の推進
- (3) モノの生産に必要な最小限の資源が循環利用される暮らしや事業活動等、持続可能な循環型社会の実現に向けた取り組みの推進
- (4) 生物多様性の保全に向けた支援
- (5) その他SDGs（持続可能な開発目標）の達成に寄与する取り組みとして、両者が協議し合意した事項

連携事例

「エシカル消費」について紹介した京都市の啓発動画の制作に協力しました。動画では、商品に表示されたエシカルマークや食品ロス削減について紹介され、普段のお買い物や生活の中で、世の中がよくなることを考えてものを買ったり、行動することがエシカル消費と分かりやすく説明されています。

できることから始めてみよう！
「身近でできるエシカル消費」
～倫さんのお買物編～



啓発活動

京都生協の機関紙「コーポロ」で、普段の暮らしの中でできるSDGsな取り組みを紹介する「私と暮らしのSDGs」を掲載しています。SDGs達成に貢献できる商品の紹介や、普段の行動を変えることでエコにつながる取り組みを伝えています。

また、商品購入カタログにエシカル消費商品を紹介するなど、紙面を通じた啓発活動を行っています。



エシカル消費の推進

エシカル消費をより身近に体感できるように、店舗では有機JASやFSC認証、エコマークの付いた商品をまとめた売り場づくりを行っています。

店内のエシカルな商品すべてにエシカルマークを表示し推進しています。



店舗エシカル消費商品売り場

エシカル消費商品

レインフォレスト・アライアンス認証 ra.org/ja



MSC認証



そのままでおいしい太ちくわ

FSC® 認証



コープティッシュ

エシカル消費対応商品取り扱い **約2,303万点**
(前年比104.8%)

食品ロスの削減

「食品ロス」は社会的に大きな問題となっています。食べ物を大切にすることを組合員とともにしっかりと考えていきます。



フードドライブ

賞味期限は切れていないけれど、保管されたままになっている家庭で使いきれない未使用食品を持ち寄り、それらを必要とする方々へフードバンクを通じて提供することを「フードドライブ」と呼んでいます。

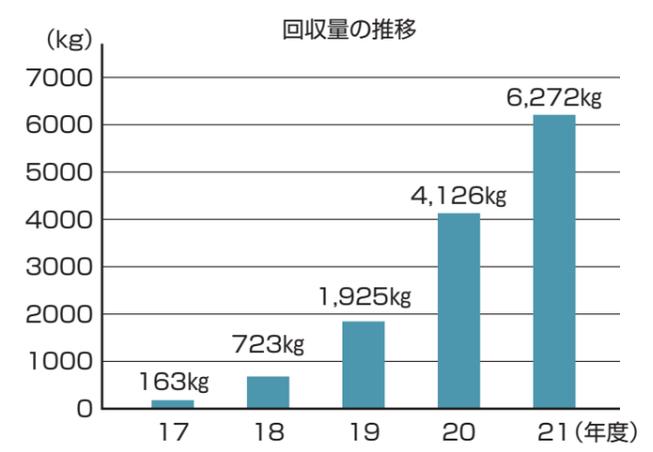
食品は、母子支援施設や子ども食堂・行政からの要請に基づく個人への緊急支援など必要とする方へ提供され、そこに暮らす方々の生活支援につながっています。

フードドライブ開催店舗数 **13店舗** / 総回収量 **6,272kg**

支援実施後の声

仕事を辞めざるを得なくなり困っていましたが、支援が届き、子どもと「何とかかなりそうだね」と話していました。

| 年度 | 実施の経緯 |
|------|---|
| 2017 | コープパリティ・コープ醍醐石田・コープながおか |
| 2019 | コープ二条駅・コープさかの・コープ桃山・コープ城陽・コープ祝園駅・コープ京田辺 |
| 2020 | コープ山科新十条・コープ男山 |
| 2021 | コープらくさい・コープ下鴨 |



物流センターでの商品提供を開始

宅配物流センター（南部物流センター）にある予備商品を、フードバンク団体（セカンドハーベスト京都）へ、継続的な提供を行う取り組みを開始しました。提供した商品は、フードドライブ同様それらが必要とする方の生活支援のために活用されます。



提供量 **3,669kg**

予備商品とは

運搬時の破損などで不良品となった場合の交換用商品として、物流センターに一定数確保している商品です。



組合員と取り組む活動

店舗でお買い物をする組合員へ、商品を手前から消費する「てまえどり」を推奨しています。すぐ食べる商品に関しては、手前の賞味期限が短い商品を選んでいただくことで食品ロスの削減につながっています。

食品廃棄の削減とリサイクルの向上

良品返品ルールの周知（宅配事業）

「注文間違い」などを理由とした食品の返品を減らすため、組合員への呼びかけを行っています。

食品の良品返品 削減数 **約47,200点**

食品廃棄物のリサイクル（店舗事業）

店内調理時の食品残渣を、堆肥化などでリサイクルしています。

食品リサイクル率 **43.8%**

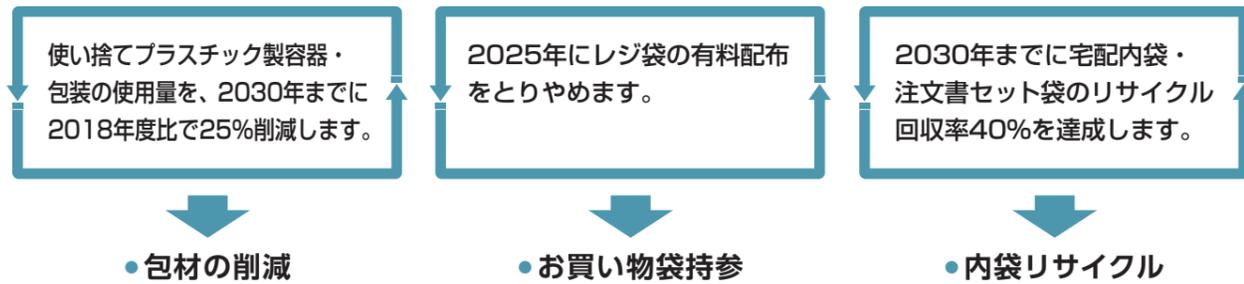
プラスチックの削減

便利で日常生活にあふれているプラスチックですが、地球温暖化や資源の枯渇、海洋プラスチックの原因につながるとして問題となっています。プラスチック問題への取り組みとして京都生協が目指す目標を定めました。



私たちの目標

数値目標は、社会的な水準を参考に、京都生協の未来のあるべき姿から逆算して目標を定める“バックキャスト”の手法で策定しました。社会情勢や進捗を踏まえて、見直すことがあります。



プラスチック包材の削減

商品に使用されているプラスチック包材使用量を削減する取り組みを行っています。店舗総菜売り場で使用していたパクトレーを袋へ変更したり、ラベルレスのペットボトルを販売しました。



店舗総菜売り場

内袋のリサイクル

宅配サービスで使用されている、商品お届け時の内袋リサイクルを進めています。リサイクル作業は、ハートコープきょうとの社員が行っています。リサイクルした内袋は、プラスチック製品の原料となり再利用されます。



内袋回収率 **15.9%**

お買い物袋持参運動

1996年よりレジ袋の有料化を実施しお買い物袋持参運動に取り組んできました。マイバッグの持参を呼びかけ、啓発活動に取り組んでいます。バッグの貸し出しや、商品梱包で使用されていた段ボールを商品購入時に持ち帰り用として活用できるよう用意しています。



お買い物袋持参を呼びかけるぬり絵

レジ袋削減枚数 **1,260万枚**

お買い物袋持参率 **93.4%**

オリジナル蜜蝋ラップづくり

組合員活動の中でもプラスチックの削減に向けた活動を進めています。自分たちのお気に入りの布を用いて、オリジナルの蜜蝋ラップを作りました。蜜蝋ビーズワックスを使い制作するラップは、繰り返し使うことのできるエコなラップです。その存在を知ること、家庭用のアイロンとクッキングシートを用いて制作できることを学び、一人ひとりができることを始めるきっかけづくりができました。



鴨川クリーン作戦

京都市内を流れる鴨川周辺の清掃活動を行うエコ企画を開催しました。川辺に浮かぶペットボトルや容器、たばこの吸い殻といったごみが多く、参加者たちは美しい環境を守るためにも、安易にごみを捨てないよう一人ひとりの心がけが大切であることを再認識する1日となりました。



総合力で普段の暮らしへの 役立ちを高める



食物アレルギーへの対応

スマイルディッシュ

食物アレルギーのある人もない人も、みんながいっしょに食べられる「特定原材料7品目」を使わずに開発した商品シリーズを販売しています。



地蔵盆アレルギー対応お菓子セット

店舗では、京の夏に催される“地蔵盆”の季節に、お供えものとしてお菓子の詰め合わせセットを購入される方が多くおられます。食物アレルギーのある子どもたちにも食べてほしいという組合員の声に応え、アレルギー対応がされている詰め合わせを展開し販売をしています。



子育てサポート

子育て中のお買い物をご利用いただくための手数料割引や、店舗子育て応援デーを実施しています。離乳食や乳幼児期に利用できる商品シリーズの販売を進めています。



商品点検・検査

専門職員による点検・検査を通して、商品の確かさ・安全性・品質を科学的に検証し、商品を安心して利用したいという組合員の期待に応えます。

産地・取引先での
点検の様子を公開中



健康意識の向上への対応

ヘルシーコープ(健康サポート食品)

食物繊維や野菜など摂りたい栄養素が「とれる」、塩分や糖質など減らしたい栄養素を「減らす」商品シリーズを販売しています。



宅配健康食

日替わりで食事をお届けする夕食サポートサービスでは、栄養バランスを考え開発された食事メニューや介護メニューを展開しています。

夕食サポート利用人数 **3,623人**

| 検査名 | 内容 | 数 |
|-------|--|---------|
| 微生物検査 | 微生物リスクの高い食品は国の基準よりも厳しい生協の独自基準に基づき検査を実施します。 | 2,543検体 |
| 理化学検査 | 残留農薬や放射性物質(セシウム)などの検査を行います。 | 203検体 |
| 産地点検 | 産直商品の産地を訪問し、農畜産物の栽培、飼育方法などを確認します。 | 30力所 |
| 工場点検 | 京都生協コープ商品を中心に製造工場を訪問。衛生的な環境下で商品が製造されていることなどを確認します。 | 26力所 |

安心して暮らせる 地域社会づくり



お買い物サポート

宅配サービス

配達エリア：京都府下全域

週あたり利用者数

184,213人

高齢者免許自主返納割引

運転免許返納後1年間の配達手数料割引サポート。

登録者 **845人**

おかいものサポートカー

組合員の暮らす地域と店舗を結び、登録制の送迎サポートサービス。

運行店舗数 **9店舗**

登録者数 **794人**

移動店舗 おかいもの便

店舗を拠点とし運行する移動販売サービス。

停留所数 **83カ所**

週あたり利用者数 **518人**



地域の安全

自治体と協力し、配達時の高齢者や地域に暮らす方々の見守りを続けています。配達担当者の日々のコミュニケーションや気づきが、迅速な対応につながっています。

高齢者等の見守り活動

見守り協定数

23 / 26自治体中

通報件数

34件

安全運転意識の向上

安全運転大会

地域での配達を安全に、そして規範となれるように、運転意識の向上に力を入れています。府内全域の支部より選ばれた代表職員らによって、車両走行や、法規テストを通じて安全運転の大切さを再認識する“安全運転大会”を実施しています。意識を高め合うことで日々の運転業務の推進につなげています。



平和な暮らしを守るために

被爆者をはげますつどい

被爆者をはげますつどい実行委員会とともに、被爆者へ折り鶴とクリスマスカードを贈りました。京都生協の組合員が作る折り鶴には一つひとつにメッセージが書かれ、心温まる取り組みとなりました。



助成金制度・募金活動

社会貢献活動助成金制度

京都府を拠点にSDGsに貢献するNPOなどの団体を支援するために、助成金制度を行っています。21年度は、10団体へ220万円を助成しました。



21年度助成団体活動報告

NPO法人献血と骨髄バンクの和を広げる会

献血の受付時に骨髄バンクの説明を行い登録の輪を広げる活動を行っています。助成金は献血・骨髄ドナー登録をしていただいた方への手作りのプレゼントやぜんざいのふるまいなどの費用に使われました。

▼21年度募金・寄付一覧

| 募金名 | 金額 | 募金名 | 金額 |
|------------------|------------|-------------------|-------------|
| くらしの助け合いの会募金 | 2,294,722円 | 書き損じハガキ等回収キャンペーン | 10,178,286円 |
| くらしを守る取り組みを支える募金 | 1,491,713円 | ユニセフ募金 | 5,994,173円 |
| きょうされん募金 | 3,093,307円 | ユニセフ新型コロナウイルス緊急募金 | 1,708,646円 |
| 大雨災害支援募金 | 777,095円 | 平和募金 | 1,074,693円 |
| 災害支援活動カンパ | 235,886円 | | |

持続可能な世界の 実現に向けて



エネルギーについて



CO₂排出量の削減

効率のよいルートで配達を行うことが、配達時間の短縮につながり、使用するエネルギー量の削減につながるとして、「コースの効率化改善」に力を注ぎました。また、一部の営業車に電気を使用するEV車を導入、事業所設備の省エネ化などで、CO₂排出量の削減に取り組みました。

CO₂排出量
8,407t (前年比95.5%)

再生可能エネルギーの推進

再生可能エネルギーを可能な限り使用した「コープでんき」をお届けしています。FIT電気100%で供給しCO₂排出係数をゼロにした「ゼロでんき」を推進しています。

コープでんき 累計 申し込み数 **23,713件**

持続可能な生産の推進

地球温暖化などの影響で失われたサンゴ礁の再生や、農地の再利用、地産地消の推進につなげるために、対象商品の利用1品（または1個）あたり1円を寄付し、生産者やメーカーの活動を応援しています。

サンゴ再生もずく基金応援金
341,010円

さくらこめたまご応援金
3,252,100円

リサイクル

| | 宅配 | 宅配・店舗 | | 店舗 | |
|---|-----------|-------------------|---------|-------|-------------------------|
| 回収品目 | カタログ類 | 紙パック | 卵パック | トレー | ペットボトル |
| 用途 | 新聞用紙、印刷用紙 | トイレロール、ティッシューパーなど | 卵パックの原料 | トレー | サラダ容器・お刺身容器のふたなどの透明トレーへ |
| 回収量(t) | 4,378.6 | 126.1 | 40.5 | 21.9 | 103.0 |
| 回収率(%) | 75.2 | 45.4 | 68.4 | 66.1 | 195.4* |
| CO ₂ 削減量(t-CO ₂) | — | 112.7 | 149.7 | 108.5 | 334.6 |

*京都生協での供給量以上の量を回収しています。

店舗ではペットボトルキャップを回収しています。その売却益は、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンに寄付され、病気の子供とその家族が利用できる滞在施設の建設費と運営費に充てられます。

ペットキャップ回収量 **556万個**

SR・環境目標

A良好（100%以上達成）、Bやや不足（90%以上達成）、C不適合（90%未満）

| 2021年度の環境目標 | 2021年度の実績 | 評価 |
|--|---|----|
| CO ₂ 排出総量の削減を、2020年度比95%とします。 | CO ₂ 排出量は8,407tで、2020年度比95.5%となり、目標に対して99.5%となりました。 | B |
| エシカルな商品の供給数量を2020年度比100%として、普及を図ります。 | エシカルな商品の総利用点数は約2,303万点（前年比104.8%、目標比104.8%）となり、利用が大きく広がりました。 | A |
| 店舗での食品廃棄物のリサイクルを推進し、食品リサイクル率を49%に向上します。 | 食品リサイクル率は43.8%でした。お店での廃食油、魚のアラ、野菜くずの回収量が減り、廃棄量が微増しました。 | B |
| 廃棄物の発生抑制、再資源化を進め、リサイクル回収総量の2020年度比99%を目指します。 | リサイクル回収総量は、4,670tでした。目標比98.5%で、前年比97.6%となりました。卵パック、ペットボトルで回収量が増加しました。 | B |
| 地域社会の要望に基づく施設見学や研修などの受け入れ、学習会の実施回数50回を目指します。 | 学習会、事業所見学などの年間活動総数は86回でした。オンラインでの開催が増加しました。 | A |
| 店舗でフードドライブを実施し、組合員家庭での食品ロス削減を推進します。 | 店舗でのフードドライブの総回収量は、6,272kg、前年比152%と、組合員の協力によって家庭での食品ロス削減が進みました。 | - |

多様性を認め合う 活力ある組織を 目指して



クレドミーティングの開催

全職員共通の行動指針「クレド」を定め、ともに働く職員同士がクレドに関連した日々の出来事を共有し、互いに共感、気づきを得る時間を設けています。クレドを通じて職員間のつながりや、組織として目指すべき姿の共有を実現しています。

CREDO -理念・ビジョンに近づくための行動指針-

1. 私たちは自分から進んであいさつをします
気の利いた一言と共に相手の変化に気づき、声かけをします。
2. 私たちは困っている人に自ら歩み寄ります
人の痛みに敏感な私たち。凹んでいる人に話しかけ笑顔に導きます。
3. 私たちは身だしなみの清潔感を大切にします
身につけるものや姿勢・歩き方・座り方で周囲を不快にしません。
4. 私たちは相手の話・意見にいつも耳を傾けます
話し上手より聞き上手！「話しかけやすい人」を目指しています。
5. 私たちは安全・安心をなにより最優先します
何か起きた後に寄り添うより、未然に防ぐことを大切にします。
6. 私たちは仕事や暮らしの中での気づきを大切にします
周囲に話してみることで新しいアイデアが生まれるきっかけをつくれます。
7. 私たちはいつまでも自分を高め成長を続けます
何事も夢中になれば成長に、個々の成長で周囲にいい影響を与えます。
8. 私たちは“チーム京都生協”の精神を大切にします
全事業が“自分事”。強いファミリー感で互いを認め合うチームです。

働きやすい職場環境づくり

子育てや介護など、ライフサイクルの変化にも柔軟に対応できる制度の推進に力を入れています。特に、子育てをしながら働ける職場環境を目指し、正規・専任・パート職員までを対象に出産祝い金の給付や、最大3年間の育児休業取得、小学校入学までの子どもを対象とする育児時短制度などの対応を進めています。男性の育児休業取得率も増えており、性別を問わずに、子育てに充てる時間を取りやすい職場環境づくりを推進しています。

制度活用者数一覧

| 育児休業取得者 | 育児時短利用者 | 男性育児休業取得率 | シニア嘱託職員制度活用者 |
|---------|---------|-----------|--------------|
| 13人 ※ | 11人 ※ | 40% | 24人 |

※2021年度に子どもが誕生したすべての職員が制度を活用しました。

デジタルシフトの推進

デジタル力で組織・人材・業務を改革し、持続的成長を遂げるための基盤づくりを進めました。職員の情報リテラシー向上を目指した「デジタルシフト推進リーダー制度」を発足し、業務の効率化・環境負荷の軽減を目指して、業務で使用する紙・FAX・印鑑の使用率削減に取り組みました。また、22年春よりリリースした「KYOTO COOPアプリ」の開発を軸に、スマートレシートやプリペイド決済機能を導入しデジタルサービスの推進に力を入れていきます。



障害者優良勤労者知事表彰 受賞

京都生協の特例子会社であるハートコープきょうとの社員4人が、京都府の令和3年度「障害者雇用優良勤労者知事表彰」を受賞しました。

ハートコープきょうと社員の受賞は、2018年に続き2度目となります。受賞した社員は、リサイクル事業の立ち上げと、その後の安定稼働に貢献しました。

障害者雇用率 **3.91%**

障害者優良勤労者知事表彰とは

京都府の障害者支援の取り組みの一環として、これまで障害のある方の雇用の促進と安定に貢献された事業所、また障害と向き合いそれぞれの職場において永く勤められた優秀な個人に対して与えられます。

運営参加

生協運営のしくみ

生協が社会的責任を果たすためには、「機関運営」が適正に行われることが必要です。

生協で機関に当たるのは、最高議決機関としての「総代会」、総代会決定に基づいて重要事項を決定する「理事会」、生協を代表して業務を執行する「代表理事」、理事による業務執行の状況を監査し、適切な業務が行われるようにする「監事」です。

経営責任

内部統制システムの整備

公正で健全な組織運営を行うため、2010年に「内部統制基本方針」を定め、以下4つの目的を達成するために、毎月開催するリスク管理委員会で整備計画の進捗管理を行っています。また、独立の立場で経営諸活動の全般にわたる制度および業務執行状況を監視・検証するとともに、内部統制システムの構築の進捗状況、運用状況や有効性などについてモニタリングを行うため、内部監査担当による監査を実施しています。

業務の有効性
および効率性

財務報告の
信頼性

事業活動に関わる
法令などの順守

資産の保全

業務マネジメントシステムの運用

「目指すべき方針や目標を定めて、その目標を達成させるための仕組み」として、「業務マネジメントシステム」を運用しています。仕事の改善を進め、組合員満足の向上、商品・サービス品質の向上、事業計画の達成を目指します。

コンプライアンス態勢の推進

倫理・法令や社会規範、職場のルールを守り、正直で誠実な事業と活動を進めるための職員教育に取り組んでいます。2005年に「コンプライアンス基本方針」「コンプライアンス自主行動基準・順守事項」を定めて、職員にコンプライアンス順守、ハラスメント防止、ネット上での情報発信の注意、飲酒運転の撲滅などの啓発をしています。

組合員とのコミュニケーション

組合員コールセンターを設置し、組合員からの問い合わせにきめ細やかに対応することで、より良いサービスを多くの組合員に届けています。

組合員コールセンター対応件数

| | | | |
|-------|----------|-------|----------|
| 意見・要望 | 168,155件 | 問い合わせ | 121,772件 |
| 苦情 | 52,752件 | 合計 | 342,679件 |

事業継続計画 (BCP)

台風・豪雨などの災害に対して、京都生協では事業継続計画 (BCP) に基づき「自然災害対応マニュアル」に沿った対応をしています。他団体との通信訓練や職員の安否確認訓練などを定期的実施するとともに、行政などの多様な組織と連携した取り組みを進めています。さらに、2020年度には「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を定め、実効的な対応を行っています。職員の健康管理も十分に留意しながら、暮らしを支える事業の継続に今後も努めていきます。

外部審査の結果

特定非営利活動法人KES 環境機構に登録し、毎年の定期審査を受け、業務マネジメントシステムが有効かつ適切に機能・維持されているかを審査しています。

■審査機関：特定非営利活動法人KES *環境機構

*京都から発信された「環境マネジメントシステム」の規格

◆審査結果：KESステップ2SRに適合していると判定されました。

◆受審組織：京都生活協同組合

◆審査実施日：2021年9月16日・17日

◆適用規格：KESステップ2SR

◆審査目的：京都生協のマネジメントシステムが、KESステップ2SRの要求事項に適合しているかを審査すること。

コンプライアンス相談

職員相談件数 **17件** 取引先相談件数 **0件**